

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 卑弥呼

コード番号 9892 URL <http://www.himiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 柴田 一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務部・経理部担当 (氏名) 船倉 俊明

TEL 03-5485-3711

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	5,386	△4.5	679	2.0	724	△2.6	328	△24.0
22年3月期第3四半期	5,638	—	666	—	744	—	432	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	41.65	—
22年3月期第3四半期	54.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	14,699	13,718	93.3	1,737.63
22年3月期	14,589	13,661	92.9	1,716.28

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 13,718百万円 22年3月期 13,550百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	19.00	19.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 有

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	△5.7	750	13.3	800	5.2	350	△21.3	44.33

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）、
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 有
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 12,984,233株 22年3月期 12,984,233株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 5,089,162株 22年3月期 5,089,022株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 7,895,136株 22年3月期3Q 7,895,337株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(第3四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気刺激対策による消費底上げ効果や新興国向け輸出の拡大に伴う企業収益の改善など、一部に明るさがみられたものの、急激な円高や株価低迷に加え、雇用情勢の厳しさから消費者の低価格志向・節約志向は依然として根強く、個人消費は本格的な回復には至りませんでした。

また、円高や物価のデフレ傾向が続くなど消費者の生活防衛意識から低価格志向が強くなり、百貨店等小売業界では販売額を大きく減少させるなど総じて低調のまま推移し、厳しい経営環境が続いております。

わが靴業界におきましては、消費者の買い控えや低価格志向が強くなり、低価格品や機能性を打ち出した製品等を扱っている一部企業を除き、低調のまま推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、お客様の多様なニーズに応えるため、継続的に業務改革を推進し、消費者の要望にかなった商品を提供するための体制を構築し、複数ブランドを同時展開するミックスブランド店の店舗展開を進めると同時に、新規ブランドの開発を行うなど、市場の変化に迅速に対応してまいりました。さらに、売上原価や販売費及び一般管理費を見直すなど、コスト削減にも取り組んでまいりました。

しかしながら、売上面では、既存店におきまして、前年同期比で減収となったことにより、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高5,386百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益679百万円（前年同期比2.0%増）、経常利益724百万円（前年同期比2.6%減）、四半期純利益328百万円（前年同期比24.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、14,699百万円となり、前連結会計年度末比110百万円の増加となりました。

その主な要因は、現金及び預金の増加429百万円、受取手形及び売掛金の増加75百万円、商品及び製品の減少58百万円、有形固定資産の減少13百万円、無形固定資産の減少24百万円、関係会社株式の減少72百万円、敷金及び保証金の減少101百万円等によるものです。

負債合計は981百万円となり、前連結会計年度末比52百万円の増加となりました。その主な要因は、買掛金の減少54百万円、未払金の増加5百万円、未払法人税等の増加84百万円、賞与引当金の減少15百万円、返品調整引当金の増加4百万円、退職給付引当金の増加5百万円、役員退職慰労引当金の減少12百万円、及び資産除去債務の増加39百万円等によるものです。

また、純資産は13,718百万円となり、前連結会計年度末比57百万円の増加となりました。

なお、上記、総資産、負債、純資産の増減のうち、当連結会計期間に株式会社エルピーディ及びVINA MODE INTERNATIONAL Co., Ltd.（株式会社エルピーディが100%の持分を有する会社）が子会社に該当しなくなったことによる資産の減少544百万円及び負債の減少425百万円がそれぞれ含まれております。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、551百万円の収入（前年同期比87百万円減）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益633百万円、売上債権の増加192百万円、及び減価償却費112百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,004百万円の支出（前年同期比1,732百万円減）となりました。これは、主に定期預金の預入による支出2,200百万円、及び定期預金の払戻による収入1,200百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、147百万円の支出（前年同期比125百万円減）となりました。これは、主に配当金の支払額122百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間に実施いたしました子会社株式譲渡に伴う特別利益及び特別損失の影響により、平成22年5月12日付「平成22年3月期決算短信」で発表いたしました通期における連結業績予想及び個別業績予想を下記のとおり修正いたしました。

(連結業績予想)

売上高	6,700百万円	(前年比 5.7%減)
営業利益	750百万円	(前年比 13.3%増)
経常利益	800百万円	(前年比 5.2%増)
当期純利益	350百万円	(前年比 21.3%減)

(個別業績予想)

売上高	5,950百万円	(前年比 6.8%減)
営業利益	740百万円	(前年比 21.6%増)
経常利益	790百万円	(前年比 12.6%増)
当期純利益	750百万円	(前年比 78.8%増)

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

法人税等の計上は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準等の改正に伴う変更

- ・第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は7,636千円減少し、税金等調整前四半期純利益は、25,473千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は44,973千円であります。

- ・「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,013,777	5,583,783
受取手形及び売掛金	706,507	630,549
商品及び製品	314,340	372,588
繰延税金資産	45,561	47,519
その他	99,305	112,772
貸倒引当金	△4,505	△4,261
流動資産合計	7,174,987	6,742,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	306,878	296,882
土地	1,099,220	1,099,220
その他(純額)	82,746	106,713
有形固定資産合計	1,488,845	1,502,816
無形固定資産		
借地権	1,146,966	1,146,966
その他	69,578	93,878
無形固定資産合計	1,216,545	1,240,845
投資その他の資産		
投資有価証券	1,330,089	1,329,584
関係会社株式	50,000	122,164
長期預金	2,200,000	2,200,000
繰延税金資産	97,302	99,535
敷金及び保証金	605,449	706,521
役員に対する保険積立金	433,426	433,426
その他	103,238	216,909
貸倒引当金	—	△5,451
投資その他の資産合計	4,819,505	5,102,690
固定資産合計	7,524,895	7,846,352
資産合計	14,699,883	14,589,304

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	251,935	306,099
未払金	109,804	103,927
未払法人税等	109,446	24,670
賞与引当金	27,050	42,285
返品調整引当金	35,364	30,396
ポイント引当金	19,728	19,494
その他	79,392	58,472
流動負債合計	632,722	585,344
固定負債		
退職給付引当金	95,269	89,376
役員退職慰労引当金	129,645	141,793
資産除去債務	39,849	—
その他	83,684	111,719
固定負債合計	348,447	342,889
負債合計	981,170	928,234
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,589,052	2,589,052
資本剰余金	2,718,862	2,718,862
利益剰余金	16,418,950	16,249,265
自己株式	△6,991,464	△6,991,355
株主資本合計	14,735,400	14,565,825
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△59,570	△58,354
土地再評価差額金	△957,116	△957,116
評価・換算差額等合計	△1,016,687	△1,015,470
少数株主持分	—	110,715
純資産合計	13,718,712	13,661,069
負債純資産合計	14,699,883	14,589,304

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	5,638,494	5,386,340
売上原価	2,606,744	2,606,011
売上総利益	3,031,749	2,780,328
販売費及び一般管理費	2,365,200	2,100,328
営業利益	666,549	679,999
営業外収益		
受取利息	25,995	10,605
受取手数料	—	12,996
その他	53,761	30,111
営業外収益合計	79,756	53,713
営業外費用		
債権売却損	127	63
為替差損	—	4,462
その他	2,169	4,514
営業外費用合計	2,296	9,040
経常利益	744,009	724,672
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,340	3,717
その他	14,094	—
特別利益合計	19,434	3,717
特別損失		
店舗閉鎖損失	4,795	8,677
減損損失	34,062	8,317
投資有価証券評価損	1,548	—
子会社株式売却損	—	53,358
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	24,608
その他	447	—
特別損失合計	40,853	94,960
税金等調整前四半期純利益	722,590	633,430
法人税等	282,260	307,651
少数株主損益調整前四半期純利益	—	325,778
少数株主利益	7,659	△3,056
四半期純利益	432,670	328,835

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,805,589	1,986,308
売上原価	811,080	937,560
売上総利益	994,508	1,048,748
販売費及び一般管理費	695,320	686,683
営業利益	299,188	362,065
営業外収益		
受取利息	7,817	3,005
受取手数料	—	3,555
その他	9,930	7,156
営業外収益合計	17,748	13,716
営業外費用		
債権売却損	57	17
為替差損	—	6,974
その他	501	824
営業外費用合計	559	7,817
経常利益	316,377	367,964
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,896	700
特別利益合計	3,896	700
特別損失		
店舗閉鎖損失	1,480	—
減損損失	9,168	—
子会社株式売却損	—	53,358
投資有価証券評価損	477	—
その他	447	—
特別損失合計	11,574	53,358
税金等調整前四半期純利益	308,699	315,307
法人税等	111,775	172,232
少数株主損益調整前四半期純利益	—	143,074
少数株主利益	2,023	△5,741
四半期純利益	194,900	148,815

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	722,590	633,430
減価償却費	138,307	112,708
減損損失	34,062	8,317
引当金の増減額 (△は減少)	△57,175	△2,764
受取利息及び受取配当金	△29,547	△15,005
店舗閉鎖損失	4,635	8,677
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	24,608
子会社株式売却損益 (△は益)	—	53,358
売上債権の増減額 (△は増加)	172,131	△192,569
たな卸資産の増減額 (△は増加)	121,078	45,733
仕入債務の増減額 (△は減少)	△87,583	△41,951
未払金の増減額 (△は減少)	△38,600	11,595
その他	△3,732	86,665
小計	976,164	732,802
利息及び配当金の受取額	32,856	19,441
法人税等の支払額	△369,648	△200,391
営業活動によるキャッシュ・フロー	639,373	551,851
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,700,000	△2,200,000
定期預金の払戻による収入	—	1,200,000
有形固定資産の取得による支出	△68,239	△53,160
投資有価証券の取得による支出	△89,065	—
敷金及び保証金の差入による支出	△14,746	△43,663
敷金及び保証金の回収による収入	258,082	135,093
関係会社株式の取得による支出	—	△50,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	60,451
貸付けによる支出	△63,000	△50,000
その他	△59,697	△3,090
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,736,665	△1,004,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△251	△109
配当金の支払額	△237,685	△122,151
その他	△35,774	△25,659
財務活動によるキャッシュ・フロー	△273,712	△147,919
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△1,032
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,371,004	△601,469
現金及び現金同等物の期首残高	5,117,410	4,083,783
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	31,463
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,746,406	3,513,777

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

当社グループは靴製品等卸・小売事業のほか、不動産賃貸事業を行っておりますが、靴製品等卸・小売事業の売上高及び営業利益の金額が、いずれも事業セグメントの合計額の90%を超え、報告セグメントは当該事業のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

該当事項はありません。